LINE カーストの形成 - 既読無視によってなぜ容易に友人関係が破壊されるのか-

Occurrence of LINE caste - Why friendship is easily destroyed by KIDOKU MUSHI (Read Ignoring)-

加納 寛子*1,
Hiroko KANOH*1
*1山形大学 基盤教育院
*1 Yamagata University, Institute of Arts and Sciences
Email: kanoh @pbd.kj.yamagata-u.ac.jp

あらまし: LINE は短いチャットシステムを中心としたソーシャルメディアの一つであり昨今利用者が急増した.システムの利便性が人気を集めた要因であろうが、様々な人間関係の亀裂を生じさせている.なぜ、人と人をつなぐソーシャルメディアが人と人の関係をなぜ断絶させることになるのか、その構造について分析した.

キーワード: LINE, LINE カースト, 既読無視, ソーシャルメディア, ネットいじめ, KH Coder

1. はじめに

無料通話アプリLINEの利用者増加に伴い, 多々痛ましい事件が起きている(加納、2014a). 友達からのメッセージに即レス(迅速な返事) (加納, 2009)をしなかったからと、グループト ークから外されるという仲間はずれによるいじ めは、多発しているようだ. さらに、2013 年 10 月広島県山県郡で、通信制高校に通う 19 歳の男 子生徒の両足を縛り、川に突き落とし、男子生徒 が川からはい上がってきた後、足をライターの火 であぶってやけどを負わせたという事件があっ た. 加害者は友人の少年4人(16~17歳)で あった. 男子生徒は全身に打撲痕があるほか、や けどは皮膚移植が必要なほどの重傷であった. こ の拷問・殺人未遂をすることになったきっかけは, 加害少年4人のうち1人が、LINEでの呼びか けを被害者の男子生徒に無視されたことがきっ かけだったという.

友達であっても、即レスがないと友人関係は容易に壊れてしまうようになったのはなぜか、人を判断する理由の記述データを、KH Coder⁽¹⁾を用い、用語を分析した.用語抽出には、Term Extract⁽²⁾を利用した.用語抽出で用いたデータは加納(2014b)において実施した調査の記述データを用いた.

2. 方法

加納(2014)では、仲間はずれになるパターンについて、大学 1 年生 17 名に対し、円座型グループインタビューを行ったところ、A~D に示す 4 パターンに集約できた. そこで、過去に接点がなく、大学入学と同時に知り合ったという設定で、ネッ

ト上の噂情報によって、仲間はずれの人に対する 人物評価や行動に差が見られるのか否か大学1年 生17名(有効回答数14名)に対し質問紙調査を行った。4人物の噂ストーリーを用意し、学生はそれをインターネット上で読んだ。そして、信頼、理解、親しみ、好感の4観点による人物評価と人を判断する理由に関する自答を求めた。本稿では人を判断する理由に関するきゅじゅつで一他の分析を行った。人物評価の結果は注3に示した。

A:規範的※+成績下

B:規範的*+成績上 C:反規範的+成績下

D: 反規範的+成績上

E:噂情報なし

※おとなしく社会秩序を乱さないという点で規範的

3. 結果

情

報

テキストマイニングソフトウェア Term Extract による抽出語 40 語を用いた KH Coder による対応分析の結果を図 1 に示した. その結果「強い」という用語に関連づけられた用語が多数検出された. 一言で強いと言っても、我慢強い、肉体的に強い、精神的に強い、正義の強さ、悪の強さ、様々な側面がある. しかしながら、人の判断理由の一つとして「強さ」の概念が挙げられることがわかった. さらに、自己組織化マップ(図 2)からは、「日常的やりとり(右下)」「成績やステータス(左上)」「特性(左端)」「状況(右上)」等も人の判断に影響を与えていると推察された. 強さを頂点と下関係性と、LINE の閉鎖的特質を踏まえると、LINE のグループトーク内には、「LINE カースト」が容易に形成されるのではないかと推察された.

高め α 成分2 (4.3%) プライド 感謝 自惚れる 作る 考える イメーン 頑張る 強い感じ それぞれ 0 小石 グレる 理由 一筋 把握 知れ 義務 遊び人 事情 サポる 癖 難しい 4 人柄 話し掛ける 対応 4 論外4 -2 -1 1 2 3 成分1 (4.3%)

図1 人の判断理由:対応分析

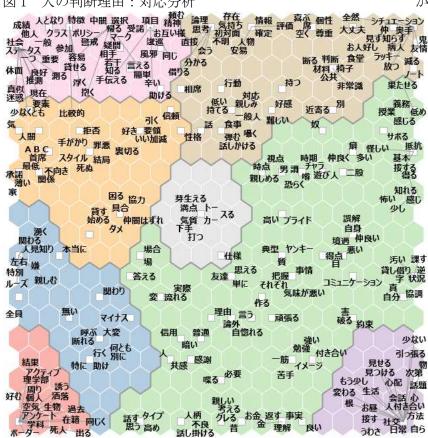


図2 人の判断理由:自己組織化マップ

注

1)KH Coder: Copyright© 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 675 Mass Ave, Cambridge, MAO2139, USA

2) http://gensen.dl.itc.

u-tokyo. ac. jp/

3) 噂情報に対する信頼,理解,親 しみ、好感の4尺度のクロンバック の信頼係数 α は, A:0.97, B:0.94, C: 0.93, D: 0.83, E: 0.92 であり, 4 尺度には内的一貫性があると判断 したため、合算値を使用した. 合算 値はA:11.93, B:15.64, C:10.71, D:11.29, E:11.71 であった. そし て、4 尺度の合算値と物を貸すか否 かに関する相関をとったところ, 昼 食代は r=0.85 で高い相関, ノートは r=0.69 で相関が見られた. 信頼がお けると思う相手には貸すが、そうで ない相手には貸さないという結果は 当然のことであるが、リアルでは過 去に全く接点のない相手であっても, ネット上の噂による情報は、人物評 価や行動に大きく影響を与えること がわかった.不確かな情報は絶対に

発信しない・伝達しない・鵜呑み にしない教育の重要性が示唆さ れた(加納,2014b).

[謝辞]

本研究は科研基盤(B)25282031 (代表者:加納寛子)の助成を受けて行った.

参考文献

- (1) 加納寛子: いじめサインの見抜き 方, 金剛出版, 東京(2014a)
- (2) 加納寛子: 即レス症候群の子ども たち--ケータイ・ネット指導の進め方, 日本標準, 東京(2009)
- (3) 加納寛子:仲間はずれによるネットいじめに関する考察-噂情報の違いは人物評価や行動に影響を与えるのか-,日本教育心理学会第56回総会論文集 PD026, p.475 (2014b)